

研究情報の公開（オプトアウト）

研究課題名：有毒植物による中毒の症状と成分の関連性の解明

1 研究責任者

岐阜県保健環境研究所食品安全検査センター 専門研究員 南谷臣昭

2 共同研究機関及び研究責任者

国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第三室	室長	登田美桜
科学警察研究所法科学第三部化学第二研究室	室長	太田彦人
岐阜薬科大学グリーンファーマシー教育推進センター	教授	松永俊之
富山大学和漢医薬学総合研究所	客員教授	紺野勝弘
熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター	特任准教授	数馬恒平

3 研究期間

平成 30 年 8 月 3 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

4 研究目的

有毒植物による中毒において、原因となった食品中に含まれる成分を分析し、病因物質を明らかにすることにより、現行の食中毒未然防止対策（リスク管理）が適切であるかを判断し、将来の食品衛生行政施策に必要な科学的知見を得ることは重要な課題となっています。

私ども岐阜県保健環境研究所では、有毒植物の中で過去に県内でも発生事例があるものの、希少な事例であるために未だ中毒の病因物質が特定されていないアジサイ類による中毒の病因物質の特定を目的として研究を実施しています。食中毒の原因となった食品中に含まれる毒成分（病因物質）を分析し、どのような成分がどれくらいの量で、どのような症状を引き起こすかという科学的な知見を明らかにすることにより、アジサイ類に起因する食中毒の未然防止対策及び食中毒事件発生時の迅速対応、さらに医療現場での診断・治療に役立てようとしています。

5 利用する試料・情報

平成 21 年 4 月に岐阜県で発生したアジサイ類のアマチャによる中毒事例について、食中毒の原因となったアマチャを試料として、そこに含まれる成分を分析し病因物質を特定します。また、食中毒の疫学情報（事例の摂食者数、有症者数、喫食情報、症状）を本研究

で利用します。試料・情報は匿名化（特定の個人を識別することができない）して利用します。

6 拒否機会の保障

本研究では、個別にインフォームド・コンセントを受けることが困難な事例について、インフォームド・コンセントの代わりに、保健所から調査を受けた者が研究への協力を拒否する機会を保障します。本研究の対象となる方で、研究への協力を同意を頂けない方は、下記までご連絡をお願いします。なお、同意の有無が個人の不利益になることはありません。協力を拒否される方は令和3年1月4日から令和3年3月31日までに申し出てください。期間経過後はデータを確定するため対応できません。

7 その他

研究に伴う知的財産権は、岐阜県に帰属します。

本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

<拒否の意思表示を受け付ける窓口>

機関名 岐阜県保健環境研究所

担当者 食品安全検査センター

専門研究員 南谷臣昭

住 所 〒504-0838 岐阜県各務原市那加不動丘1-1

電 話 058-380-2100

F A X 058-371-5016